

# 読解基礎トレーニングシート 作文講座①／サッカーワールドカップ

★次の文章を読んで、あなたが人からほめられたこと、そのときの気持ちを 200 字以内の文で書いてみましょう。

サッカーワールドカップ、ベスト 8 をかけた日本代表チームはベルギーとの一戦で 2-3 と、おしくも負けてしまいました。優勝候補<sup>ゆうしょうこうほ</sup>を相手に素晴らしい試合をくり広げた日本代表チームに対して、さらに世界が称賛<sup>しょうさん</sup>する出来事がありました。

それは、日本代表チームが使用したロッカールームが試合の後とてもきれいにそうじされていて、感謝<sup>かんしゃ</sup>のメモもそえられていたことです。ワールドカップを運営するスタッフから世界に伝えられました。

試合をすればどろだらけになり、ロッカールームが汚れるのは当たり前とってしまうところですが、ましてや試合は負けてしまったので、つい物をこわしてしまうなどがあっても不思議ではありません。そんな中での日本代表チームのスポーツマンらしいさわやかな行動が、世界に感動を運びました。

この大会で、日本のサポーターたちも同じように、試合後に観客席のそうじをしていたことが世界で称賛<sup>しょうさん</sup>されました。各国のサポーターたちもその行動を見習い、同じように観客席のそうじをすることが広がりました。「自分が使ったところをきれいにするのは当たり前」と考え、行動できる日本代表チームとサポーターはとてもほこらしく、試合には敗れましたが、試合を戦った選手とおうえんしたサポーター、いずれも素晴らしいチームだったと胸<sup>むね</sup>を張っていえるのではないのでしょうか。

## 【ワークシート】

①あなたが人からほめられたことをあげてみましょう。

②ほめられた理由や、あなたをほめてくれた人との関係を整理してみましょう。

③①の中からあなたが一番印象に残っているものを選び、そのときの気持ちをまとめてみましょう。

## 読解基礎トレーニングシート 作文講座②／都道府県

★次の文章は、長野県と新潟県を紹介した文章です。この文を参考にして、あなたの住む市区町村を紹介する文を200字の文で書いてみましょう。

かつては信濃しなのの国とよばれ、今では信州しんしゅうともよばれています。信州と言えば「みそ」と「そば」が有名です。松本市には国宝の松本城まつもとじょうがあります。善光寺ぜんこうじとならんで多くの観光客がおとずれます。善光寺の本堂にはお戒壇めぐりかいだんといって、本堂のゆか下に真っ暗な回廊かいろうがあります。本当に真っ暗なので、入るときには覚悟かくごが必要です。また江戸時代えどに書かれたとされる落書きが残っています。大事な文化財に落書きをするのは悪いことですが、いたずらは昔からあることなのです。

米づくりがさかんな事もあり、お酒やおせんべい、あられなどがたくさんつくられています。有名なおかしの「かきの種」はこの県が元祖です。さど金山へいざんは閉山後、こう道やし設のあと地が観光スポットとなり、多くの観光客がおとずれます。また原油がとれ、見附油田みつけなどの油田やガス田では現在でも採掘が行われています。

中部地方の日本海側は古くは、北から越後えちご、越中えっちゅう、加賀かが、越前えちぜんとよばれていました。戦国武将の上杉謙信うえすぎけんしんは越後の虎とら（龍りゅう）ともよばれ、この県の春日山城かすがやまじょう（現在のじょうえつ上越市）を本拠ほんきよとし、宿敵しゆくてきの武田信玄たけだしんげんと川中島かわなかじまで4度の合戦を行いました。

### 【ワークシート】

①あなたが住んでいる市区町村の特徴や有名なものをあげてみよう。

②あなたは自分が住んでいる市区町村が好きですか、嫌いですか。その理由をあげてみよう。

③人に自慢できるものや珍しいもの、歴史的なことや紹介したいことなどありませんか。

# 読解基礎トレーニングシート 作文講座③／古文にふれる④枕草子

★『枕草子』についての次の文を読んで、あなたのいちばん好きな季節について、200字の文で書いてみましょう。

『枕草子』は、平安時代のなかごろに書かれたずい筆です。<sup>きゅうてい</sup>宮廷につかえていた清少納言<sup>せいしょうなごん</sup>という女性によって書かれ、宮廷での出来事や、日頃感じていることなどをかいたものです。物語ではなく、日々の出来事や思ったことなどを書いたものをずい筆といいます。

<sup>ぼとう</sup>冒頭の文章、「春はあけぼの。やうやうしろくなりゆく山ぎは、すこしあかりて、むらさきだちたる雲のほそくたなびきたる。」は有名です。

「春の明け方は、しだいに山ぎわが白んできて、上の空がほんのりと明るくなり、あわいむらさき色の雲が細くたなびいている その様子がとてもよい。」という意味です。

〈原文〉

秋は夕ぐれ 夕日のさして、山のはいと近くなりたるに、からすの、ねどころへ行くとて、三つ四つ二つ三つなど、飛び急ぐさへ、あはれなり。

まいて、<sup>かり</sup>雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし。日入りはてて、風の音、虫の音など、はた、言ふべきにあらず。

〈現代語訳<sup>やく</sup>〉

秋は夕ぐれ 夕日が赤くさして、山のはしに近づいたころ、カラスがねぐらへ帰ろうと、三、四羽、二、三羽など急いで飛んでいくすがたに心をうたれる。

まして、<sup>かり</sup>雁などが列をつくり、遠くに小さく見えるのはおもしろい。日がすっかりしずんでしまい、風の音、虫の音などが聞こえてくるのは、いいようもないほどおもむきがある。

## 【ワークシート】

①春夏秋冬それぞれの、好きな(よい)所、きらいな(悪い)ところをまとめてみよう。

②その季節を好きになった理由をまとめてみよう。好きになった出来事なども書くとよいでしょう。